

HOMIO REUSE AND RECYCLE

持続可能なライフスタイルを目指した地域情報誌、 "不要品をごみにしない"『リユース・リサイクルの仕方』を発行!

私たちは、消費者を対象とした"不要品をごみにしない"を実践する情報誌『不要品をごみとして出す前に リユース・リサイクルの仕方』横浜市版を独自に制作、発行しました。目的はごみを減らす(Reduce)ことではなく、ごみにしないことを習慣にすることです。ひとり一人が「ごみを減らす」から「資源を増やす」に意識が変われば、リユース(再使用)、リペア(修理・修繕)、リメイク、リサイクルなど循環経済につながることが期待できます。区市町村が担う廃棄物の収集、運搬、処理費用の削減にもつながります。

ごみにしないためのもっとも重要な情報は、資源の循環を担う事業者情報です。 地域のリユース、リペア、リメイク、リサイクル、片付け・遺品整理、回収事業 者などの事業者を数多く掲載することによって住民のごみにしない行動をうながす ことができます。持続可能なライフスタイルの実現は、消費者の日々の生活習慣 を無理なく変えるしくみで導く必要があります。

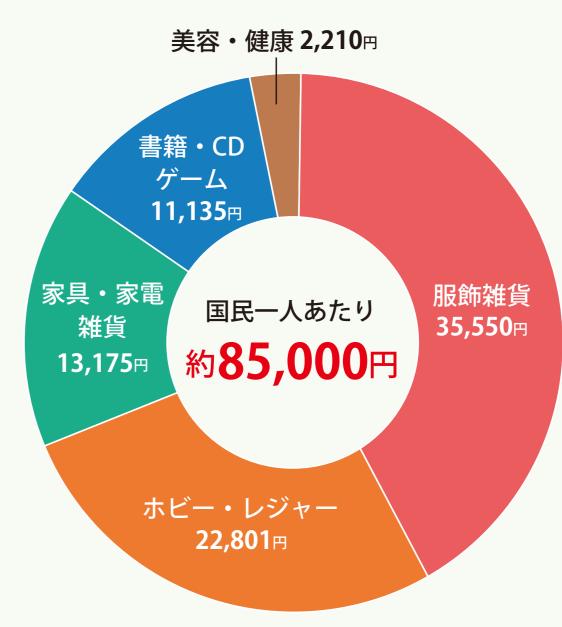
日本のごみの処理量 * は、毎年4000万トンを超えており、その7割が可燃ごみです。ごみを燃やすための焼却施設は1000を超えており、日本は廃棄物焼却大国といえます。これからは燃やさないことの工夫、行動への導き方を消費者、市町村、事業者と考えていくことが大事です。

* 引用:環境省報道発表資料「一般廃棄物の排出及び処理状況等(令和4年度)について」

WE THE WINE

DYNA DYNA

大掃除で捨てられる不要品



出典:メルカリ「2023年版 日本の家庭に眠る"かくれ資産"調査」をもとに IRIEP 作成金額の一部は割合をもとに算出

私たちは日々の習慣として、ごみを出すことがあたりまえになっています。ごみを出さないようにすること、ごみにしない ことを意識した生活に変えていかなければなりません。メルカリによると、大掃除でごみとして出される不要品の金額は 約8.5万円と推計しています。年末の大掃除、日々の片付け、引っ越し等でいらないものを処分するときにごみにしない 選択をはじめてみませんか。

